

事務事業評価表 平成23年度

政策 明日につながる産業の振興
 施策 都市型農業の推進
 基本事業 農畜産物の付加価値化

事業名 **(仮称)小麦フェスタ助成事業**

[0759]

部名	経済部	事業開始年度	平成22年度	実施計画事業認定	非対象
課名	農業振興課	事業終了年度	平成22年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 江別市民
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 麦の里えべつのPRと江別産小麦の高付加価値化
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) 小麦フェスタの運営を助成する

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	江別市の人口	人			122,138	
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円			1,200	
活動指標2						
成果指標1	来場者数	人			7,000	
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	1,200	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,612	0
総事業費 (A) + (B)		千円	0	0	2,812	0

費用内訳	
22年度	負担金 補助及び交付金 1,200千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始
背景

事業を
取り巻く
環境変化

22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
妥当である
妥当性が低い

理由
・
根拠は？

本事業によって江別産農産物をPRすることは長期的な農業振興につながる。また事業が、農業と他産業や大学との連携の糸口となり、他産業への効果も期待できます。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
貢献度ふつう
貢献度小さい
基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

本事業をとおして市民に江別産農産物をPRすることにより、市民に地産地消の意識がひろまり、農産物の高付加価値化につながることを期待されます。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
どちらかといえばあがっている
あがらない

理由
・
根拠は？

平成22年度実施分については、小麦が不作という状況の中で、来場者約7,000人となり、江別産道産小麦の良いPRの場となりました。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
成果向上余地 中
成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

道内各地と連携し、最大限に道産小麦のPRを行っている。地場産小麦を使った取組を行う市町村が増えれば、向上の余地はあるが現状としては、広がる余地はないものと思われる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
ない

理由
・
根拠は？

事業実施に当たっては、最低限のコストで済むよう努めています。